

2025年度
南山大学

総合型入試
[資格・検定試験活用型]
問題集

NANZAN
UNIVERSITY

目 次

英米学科	1
スペイン・ラテンアメリカ学科	3
フランス学科	4
ドイツ学科	6
アジア学科	9
経営学科	12

Read the following excerpt from a newspaper advice column and then answer the questions below.

-Ask Philippa-

Every week Philippa Perry addresses a personal problem sent in by a reader. If you would like advice from Philippa, send in your question or problem.

I've graduated but I worry that only being average will affect my future

The question:

I am a 22-year-old woman who has just graduated from university, and I am feeling extremely average. I grew up in an “education-heavy” household where success was measured by excellent grades and prestigious universities, and any good grades I received didn't seem satisfactory. I used to think that doing well in school was not the only measure of intelligence, yet when I meet people who did well in school, they are impressive and have careers that I envy. I worry that not being as distinguished as them will affect my future and that I will never measure up to them.

*I am very lucky in many ways and recognise I am naturally gifted at some things, however in my mind it is not enough. I constantly feel I have **impostor syndrome*** and need to prove myself. I am scared that I will feel like this for the rest of my life and will never feel satisfied with myself; that any success will not be enough because I will never have the same achievements as others. I'll just be average forever.*

Philippa's answer:

Marcus Aurelius, one of the Roman emperors, said, “Very little is needed to make a happy life; it's all within yourself, in your way of thinking.”

Subtle adjustments to how you think about things can make a significant difference. We could start with your assumptions around impostor syndrome. You seem to think it's a bad thing. It isn't. When we experience impostor syndrome it means we are trying out something new, something we are not used to doing yet. If we don't try that something, we will never know whether we can do it. And, just because we don't feel like we belong, it doesn't mean we don't belong. It is more to do with how we are talking to ourselves about it – and we do have the power to change how we talk to ourselves. Be more Aurelius.

When it comes to education, I think the most important thing we can ever learn is how to love and appreciate other people. Aurelius emphasised the connection between humanity and sympathy, and the virtues of understanding and forgiveness. He believed that all humans are part of a larger community. Thinking about this I'm not sure where wanting to be more than, and better than, the majority of people fits in. Most of us do fall into the “average” category. This is a natural outcome in any large population and what you need to know is that being average does not reduce your individual worth.

We often praise exceptional achievements, but everyday, ordinary successes are what make up the majority of contributions to society and also a fulfilling life. Yes, it's nice to get an A* or win a prize. It feels incredible,

2025年度南山大学総合型入試〔資格・検定試験活用型〕問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点 (2024年10月19日実施)

<外国語学部 英米学科>

no doubt, to win a gold medal at the Olympics, but it is the details of everyday life that make the most difference to quality of life, even for those people with the gold medals. A medal is decoration on a cake, but we can't live on decorations, we need the more substantial stuff underneath.

Parents love their children and want them to do well in education so that they can support themselves and be independent. But too often this drive for academic success sweeps away the more important skill of also living in the present and appreciating every moment and each person. Each of us is so much more than our academic achievements.

You did try to think differently, but that initial programming you received is strong. I'm reminded of a horse with **blinkers*** on. Take the blinkers off, look around, read widely. You will see average people enjoying extraordinary relationships, appreciating their worlds, experimenting with change, pursuing their passions and getting the most out of life. Averageness, like impostor syndrome, can be embraced.

Don't be in a hurry to achieve all the usual goals that are supposed to lead to a successful life. Don't try to measure success just in grades and job titles. Instead, accept where you are, explore what interests you and take away the pressure that comes from comparing yourself to others. Watch how you are talking to yourself and congratulate yourself when you notice an unhelpful thought pattern you need to change. Change will take practice. Be patient. Be curious about yourself. Think about ways to be creative, ways to be kind, ways to get involved and belong. We all have our own unique journey through life. Comparing your journey to others' can lead to feeling dissatisfied and overlooking the unique contributions you have to make.

Record your progress in a journal. *The Daily Stoic Journal, 366 Days of Writing and Reflection on the Art of Living* by Ryan Holiday has helpful quotes and questions that will help you identify your ways of thinking that might not be working for you.

Marcus Aurelius also said: "The soul becomes dyed with the colour of its thoughts." I think he knew what he was talking about.

* **imposter syndrome**: 仕事において成功しているにもかかわらず、自分を過小評価する心理傾向

* **(horse) blinkers**: (馬の) 目隠し革

Source: Perry, Philippa. (2024, September 15). "I've graduated but I worry that only being average will blight my future". The Guardian. (With modification.)

【設問1】 本文の内容全体を日本語で要約しなさい。(1,000字程度) ※原稿用紙を使ってください。

【設問2】 Do you think being 'average' is enough for a good life in Japan? Please explain your opinion with detailed examples. (Approximately 150 words in English.) ※無地の用紙を使ってください。

出典 : I've graduated but I worry that only being average will blight my future by Philippa Perry, The Guardian, 15 Sep 2024. Copyright Guardian News & Media Ltd 2025

2025年度南山大学総合型入試〔資格・検定試験活用型〕問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点 (2024年10月19日実施)

<外国語学部 スペイン・ラテンアメリカ学科>

次の2つの設問①・②からひとつを選び、1000字程度で論述しなさい。解答用紙にどちらの問題を選択したか問題番号を明記し、小論文の冒頭（枠内の冒頭）にはタイトル（題目）を記しなさい。また、アルファベットで表記される語句を用いる場合、2文字（語間にスペースがある場合、それも1文字とする）で回答用紙の1マスを使うこと。

- ① バルセロナが「ガウディ建築の街」と呼ばれる理由をめぐって論述を展開させなさい。その際、1882年に建築が開始されたカトリック関連のガウディ建築を例として取り上げ、その建造物の名称を明示しながら考察しなさい。また、同建造物を分析するにあたり、「石の聖書」というキーワードを用いて論述を進展させなさい。そして、あなたの意見を結論まで導いていく過程において、バルセロナの街とガウディ建築の関係性も明らかにしなさい。
- ② スペイン語には、地域によって発音や語彙、文法が異なる、地理的バリエーションが存在する。この多様性の要因の一つは、スペイン語が広範囲で話されていることにある。加えて、他言語との言語接触も一要因である。スペイン語圏で話される他の言語からの影響を受けることで、スペイン語に様々なバリエーションが生じている。
まず、スペインとラテンアメリカにおいて使用されているスペイン語以外の言語を一言語挙げ、その言語が使用されている地域も明示しなさい。さらに、上述のようにスペイン語が多様な地理的バリエーションを内包していることをふまえて、日本に在住しながらスペイン語を学習する際はどのようなことに配慮すべきだと考えるか、意見を述べなさい。

2025年度南山大学総合型入試〔資格・検定試験活用型〕問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点 (2024年10月19日実施)

<外国語学部 フランス学科>

以下は、「自由」の意味について論じる著作の冒頭部分の文章である。それを読んで以下の二つの設問に答えて下さい。

「選択可能性」の意味、またその自由概念との結びつきは、考えるまでもなく明白だろう。実際、哲學に限らず、多様な文脈で用いられる「自由」の語が、基本的に「複数の選択肢が存在する」という意味合いを持つことは疑いようがない。例えば「自由度の高い競技」と言えば、その競技で取り得るスタイルや作戦についての選択肢の多さを指している。また「同性同士の結婚の自由が日本にない」と言うとき、日本には同性同士が結婚する選択肢が法律上存在しないということが意味されている。そして、これまでの自由（自由意志）の話に立ち返れば、日常的に何かを選択するとき、そこでは都度、文字通り様々な選択の可能性が開かれていると私たちは考えている。

しかし、自由が、複数の選択肢の存在としてだけ捉えられるのであれば、自由に込められた意味を十全に理解できているとは言えない。ここで「自己決定性」という概念に注目したい。自由概念の中心はむしろ自己決定性にあり、選択可能性は、その自己決定性が成立するために欠かすことのできない要素として考える必要がある。〔中略〕ここでは、自由を自己決定性の観点から捉えることで、計画や迷い、もしくは責任や後悔という私たちの実践と、自由との結びつきがはっきりすることを確認してみたい。

何をするか、自己決定できると考えることは、自分が未来にどう生きるか、自分が今後どのような人生を歩むかを、自分自身が決められるという理解へと繋がる。今私がこうして哲学に関する本を書いているのも、私が学部時代に民間企業へ就職するのではなく、研究の道に進むことを自分で決め、そのために研究を続けてきたゆえであろう。一方で、もし私にただ一つの道を歩む選択肢しかなかったのであれば、私が私の人生を決めたと言うことはできなくなるだろう。こう考えるとき、私たちは、未来で何を行うかは事前に決定されてなどいないと理解している。未来はこれからの自分の行い次第で決まると考え、ゆえに私たちは例えば将来に向けて計画を立てることになる。

自分の現在の選択が、未来のあり方を決定すると考えるために、私たちは何を選択するかを深く思い悩むことにもなる。具体例として、サルトルが「実存主義はヒューマニズムである」で語った、ある青年からの相談について取り上げてみたい。

第二次世界大戦中、フランスがドイツの占領下にあったころ、ある青年が人生相談のためにサルトルのもとを訪れた。青年は母親と二人で暮らしており、母親は、彼の存在だけを生活の救いとしていた。母には青年しか頼りにできる者はおらず、彼がいなくなれば母は絶望の中で生きていくことになるだろう。一方で青年は、兄を戦死させたドイツ軍に対して強い復讐心を抱いていた。それゆえに彼は、自由フランス軍に身を投じ、レジスタンスとして戦いたいという強い思いも持っていた。しかしもちろん、戦地に赴くことは、家を出て母を置き去りにすることを意味する。このような選択肢を前に、青年が深く悩み、苦しむのは、彼のその選択が、母がどのように生き、どのように人生を終えるのかを左右すると考えるからだろう。選択肢が存在し、未来に何が起きるか、その少なくとも一部分は彼が決め、彼にかかっているのだという思いが、彼を煩悶させることになる。

責任と自己決定性の結びつきも明らかだろう。昨今、自己責任論の行き過ぎが糾弾される中で、「親ガチャ」と呼ばれる主張——どんな親から、どのような環境のもとで生まれるかという、自分の自由にな

2025年度南山大学総合型入試〔資格・検定試験活用型〕問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点 (2024年10月19日実施)

<外国語学部 フランス学科>

らない運の要素によって、人生は決まってしまう——が散見される。そしてこのような言説に対しては典型的に、「少なくとも日本の環境では、どのような生育環境であっても本人の努力次第で人生は変えられるはずだ。親ガチャを主張するのは責任逃れだ」といった言葉が返されることになる。ここでは親ガチャの主張の可否は論じない。本書において重要なことは、この対立は、生まれ落ちた環境が人生を決めてしまうために、自分の生き方には選択肢などないのか、~~それ~~とも人生には自己決定の余地が残されているのか、という論点を巡るものであり、また同時に、その自己決定性の問題が、その人生を生きることになった責任はどこに（誰に）あるのかという責任の問いと繋がっていることである。

以上のように、「選択可能性を必要条件とする自己決定性」として自由概念を理解することで、自由概念と結びつく思考や実践との繋がりが明瞭となる。確かに自由の哲学の一つの伝統として、自由はしばしば選択可能性の存在と同一視されてきた。ここで、自由と選択可能性を結びつける理解自体が、間違っていると言いたいわけではない。本書でも自由を、「選択の自由」と単純に呼ぶこともある。しかし、同時にその選択可能性が何にとって欠かすことができないものとして求められるのかを見定めなければ、自由概念は十分に理解されたことにならない。選択可能性は、自己決定性の成立に必要な要素であり、選択可能性が不在のとき、自己決定性も不在となる。このような意義を持つものとして選択可能性は理解されなければならない。この自由と自己決定性の結びつきを認めるならば、自由な選択とは、いわば自己による選択であることになる。人は自由であるがゆえに、自分の生きる人生を自分自身で形作ることができる。選択肢の存在は、そのために必要不可欠な要素なのである。

（出典：李太喜『自由と自己の哲学——運と非合理性の観点から』岩波書店、2024年、6-9頁。（一部改変））

【設問】

(1) 筆者は、あることを説明する具体例としてサルトルが「実存主義はヒューマニズムである」で取り上げたエピソードに触れています。この具体例と関連づけながら、筆者が述べる「自己決定」と「責任」の関係について説明して下さい（200字以内）。

(2) 筆者は、自由とは、責任と結びついた自己決定として何よりも理解すべきであり、こうした自己決定を可能にするには選択可能性がなければならないと述べています。では、このような意味で「自由」を実現するために、社会はこれまでどのような環境を整え、またこれからどのような環境をつくる必要があるのでしょうか。家族、教育、労働、福祉、文化政策などいずれの分野でもかまいません、日本かフランスのいずれかで取り組まれた具体例をあげながら、自由に論じて下さい（800字以内）。

2025年度南山大学総合型入試〔資格・検定試験活用型〕問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点 (2024年10月19日実施)

<外国語学部 ドイツ学科>

下の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

グーテンベルク

日本には、丸善が一九八七年に五三九万ドル(当時七億八〇〇〇万円)で落札し、その後、慶應義塾大学が購入した聖書がある。グーテンベルクが一四五五年完成させた、世にいう『四十二行聖書』である。グーテンベルクといえば、ヨーロッパに中世から近代へと時代の変革をもたらした三大発明のひとつである活版印刷術を発明した者として有名である。

グーテンベルクはマインツに一四〇〇年前後に生まれ、一四六八年同地で没した。正確な生年がわからないだけでなく、かれの人生には不明な点が多々ある。だが、かれが発明した活版印刷術が世に与えた影響力の大きさだけはまぎれもない。活版印刷術が発明される以前、書物はすべて筆写生の手で写されていた。当然、写し損じもあれば、(a) しい的な書き換えもあり、まったく同一の書物は存在していなかった。活版印刷術によって書物の大量生産が可能となり、知識の共有も容易となって、コミュニケーション革命がもたらされた。活版印刷は、まちがいがなく、人類への最大級の贈り物であった。

グーテンベルクは活版印刷術を用いてカレンダーを最初に製作し、その後ラテン語の教本を製作した。共同出資者のヨハン・フストから莫大な借金をして始めた印刷事業だったため、確実に利益が見込めるものから印刷を始めなければならなかったのである。活版印刷には、活字、印刷機、インク、(b) しょくじなどの準備や、複雑な技術が必要で、実際に書物を販売して利益を得るまでには、かなりの時間がかかった。また、出版には、あらかじめ顧客を確保するための宣伝活動も必要であった。もちろん、グーテンベルクはそれを一人でおこなったのではなく、多くの人を雇ってもいた。かれは書物の流通に資本主義的な近代的経済システムも導入したのである。

グーテンベルクは自らの活版印刷技術に対する自信を深めたところで、聖書の印刷に取りかかった。それが、世界で最も美しい本のひとつといわれている、『四十二行聖書』である。ところが、完成を間近にしてフストに足元をすくわれる。借金の返済が期日どおりにおこなわれていないと訴えられ、(c) はいそしたのである。その結果、グーテンベルクは印刷機器だけではなく、印刷が完了していた『聖書』をもフストに渡さなければならなかった。その後、工房はフストらが共同経営し、グーテンベルクは、手元に残された、小規模な印刷所で印刷業務を続けることになった。

宗教改革

活版印刷術は同じ書物、印刷物を一度に大量につくり出すことができ、遠方まで同じ情報を伝える力をもち、いわば人と人とをつなげる力をもっていた。しかし、逆に、当時のキリスト教世界ヨーロッパに決定的な分裂をもたらす運動、すなわち宗教改革を担うことにもなった。印刷術はカトリック教会の(d) きばんを大きく揺さぶり、キリスト教によって統一されていた西ヨーロッパは分裂するにいたる。

ルター(1483-1546)が一五一七年にヴィッテンベルクで宗教改革のろしをあげてから、一五二一年までには、ルターの著作は五〇万部が流通していたようであった。聖書の翻訳版は一五二三年には五〇〇〇部、その一五年後には二〇万部が刷られた。活版印刷術が発明されなければ、このようにルターの思想が短期間に普及することは不可能であった。プロテスタント側が積極的に布教を目的として印刷術を活用したのに対し、カトリックは新版の聖書を認めず、禁書目録を作成して、信徒の読書に制限を加え

2025年度南山大学総合型入試〔資格・検定試験活用型〕問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点 (2024年10月19日実施)

＜外国語学部 ドイツ学科＞

た。プロテスタントがカトリックよりも近代化の推進に貢献したといわれるゆえんである。

また、典礼や教会法に関する文書の複製は、活版印刷術の発明を境に、聖職者による筆写から世俗商人による利潤追求型の活版印刷へと移っていった。これにより、国家権力がローマ教皇の支配から脱することもできた。印刷術の情報伝達の力は、皮肉にも西ヨーロッパの分裂をもたらすとともに、新しい国家感情の芽生えをうながし、ヨーロッパの「近代」の誕生を用意したのである。

焚書

①「本が焼かれるところでは、最後には人間も焼かれる」とは、ドイツの詩人ハインリヒ・ハイネ(1797-1856)の言葉である。一九三三年ベルリンの「焚書広場」(現在のベーベル広場)では、ナチスによって「非ドイツ的」とされた二万五〇〇〇冊もの書物が突撃隊によって焼かれた。その広場には四万人もの群衆が押しかけて焚書の儀式に酔い痴れた。ハイネの予言は不幸にも的中し、ナチスが後に六〇〇万人ともいわれるユダヤ人をガス室で殺害し、焼いたことは知られている。

ブックフェア

②ドイツでは五〇〇年以上の伝統をもつ書籍見本市が、毎年一〇月にフランクフルトで開催されている。フランクフルトはグーテンベルクが活版印刷を創始したマインツからは数キロしか離れておらず、ここでグーテンベルクと一緒に印刷業を営んでいたフストやペーター・シェッファーなどが見本市で出版物を展示したのが、その始まりといわれている。この見本市は一七世紀後半までヨーロッパ最大のものであったが、(e) けいもう主義の時代にはライプツィヒにその座を譲り渡した。この見本市は、第二次世界大戦後、ドイツが東西に分かれたため、再び催されることとなった。二〇一〇年以降は、毎年世界各国から二八万人近くの関係者が訪れ、出版社や書店関係者などが、著作権などに関して交渉をおこなっている。この見本市では一九八六年から、特定の国や地方をその年のテーマとして定め、朗読会などのイベントをおこなっている。また、二〇〇七年から、ドイツ・コスプレ大会もおこなわれ、多くの若者が日本のマンガのキャラクターに扮し、衣装の出来映えなどを競っている。

現在ドイツでは、フランクフルトと並んで、毎年三月にライプツィヒでも大きな書籍見本市が開催されている。この見本市の特徴は、フランクフルトとは異なり、一般人を対象としており、多くの人が作者と触れ合える場が設けられていることにある。また、ここでは一九六三年以来、「世界で最も美しい本」コンテストがおこなわれ、「金の活字賞」が授与される。二〇一三年度には三二の国や地域から五七五冊もの本が出品された。この賞は、ドイツでものづくりに対する情熱が現在も非常に強いことを表しているといえよう。

出典：畠山寛「書物——ヨーロッパを分裂させ、結びつけた発明」『世界文化シリーズ④ ドイツ文化 55のキーワード』ミネルヴァ書房 2015年。(一部改変)

2025年度南山大学総合型入試〔資格・検定試験活用型〕問題

「小論文」 時間 90分 配点 200点 (2024年10月19日実施)

＜外国語学部 ドイツ学科＞

〔設 問〕

1. 下線部 (a) ～ (e) のひらがなを漢字に直しなさい。
2. 下線部①のハインリヒ・ハイネの言葉が意味する内容をふまえながら、学問や思想の弾圧にかんするあなたの見解を 400 文字以内で述べなさい。
3. 下線部②にかんして、ドイツの書籍見本市の役割について 100 文字以内で説明しなさい。
4. 本文の内容全体をふまえ、書物が中世以降現在に至るまでヨーロッパで果たした役割について 500 文字以内で要約しなさい。

二〇二五年度南山大学総合型入試「資格・検定試験活用型」問題

「小論文」 時間 九〇分 配点 二〇〇点 (二〇二四年一〇月一九日実施)

〈外国語学部 アジア学科〉

試験問題：次の「文章」を読み、「設問」の問いに答えなさい。

「文章」

世界の分断と対立が東アジアに影を落とす中、中国とどのような関係を築いていくのか。日本社会に突きつけられた問いだ。日中両国は、イ年の八月一二日、平和友好条約を締結した。紛争を平和的手段で解決し、武力や威嚇に訴えないと誓い合った。

現状はどうだろうか。沖縄県・尖閣諸島周辺では中国海警局の公船による領海侵入が相次ぐ。領空侵犯の恐れがある外国機に対する航空自衛隊の緊急発進（スクランブル）は二〇二三年度に六六九回あったが、うち七割を中国機が占めた。近年は偵察型無人機の活動も日本周辺で活発化している。中国の威圧的な対応はこれだけではない。国家機密の窃取や提供などを禁じる反スパイ法が四年に施行された後、少なくとも一七人の日本人が拘束された。今も五人が帰国できないままだ。

◇急速に進む抑止力強化

(ア)南シナ海や台湾海峡周辺でも、中国は力による現状変更の試みを続けている。これに対し、日本は七月、南シナ海での領有権を巡って中国と対立する(エ)フィリピンとの間で安保協力を強化する「円滑化協定」に署名した。南西諸島では「(イ)台湾有事」を念頭に防衛拠点の整備を進める。

日本は中国の行動をけん制するため、米国や周辺国との連携を強化し、抑止力を高めている。一方で、中国から見ると、日米比の連携強化や(ウ)「クアッド」(四カ国戦略対話)などの枠組み整備は自国に対する包囲網に映る。外国勢力によって政権や領土が脅かされることを過度に警戒しており、抑止力の強化だけではかえって緊張に拍車をかけてしまう。中国との関係を安定化させるには、対話を通じて信頼醸成を図ることも求められる。

米国は中国との対立が長期化しても、重要関係が相互に訪問し、首脳間の対話も維持している。日本の取り組みは十分ではない。国民の対中感情が悪化する中、政治家は「媚中派(びちゅうは)」のレッテルを貼られることを恐れ、関係改善の取り組みに尻込みしがちだ。七月には武蔵敬三厚生労働相や自民党の森山裕総務会長らが相次いで訪中した。だが、昨秋の首脳会談で再確認した

ロ 関係の包括的な推進に弾みがついたとは言えない。

内閣府が一月に発表した世論調査結果によると、中国に「親しみを感ぜない」との回答は八六・七％と過去最悪となった。それでも日中関係の発展が「重要だと思う」との回答は今も七割近い。若者が他の世代より中国に好印象を抱いている実態も明らかになった。東京大の川島真教授(アジア政治外交史)は「若者は学校で中国人や中国系の人々と接する機会が多く、中国のゲームや商品に親しんでいる。日本に移り住む人も増えており、今後、周囲にいるのが当たり前になるだろう。こうした変化が将来の日中関係を支えるのか注目される」と語る。

◇重層的な対話と交流を

出入国在留管理庁によると、一三年末時点の在留外国人は約三四一万人で、うち中国人は約八二万人(前年同期比七・九％増)と四分の一近くを占めた。永住者は約三三万人、技術者や研究者な

二〇二五年度南山大学総合型入試「資格・検定試験活用型」問題

「小論文」 時間 九〇分 配点 二〇〇点

(二〇二四年一〇月一九日実施)

〈外国語学部 アジア学科〉

どの高度専門職は一万五七五七人で、いずれも国・地域別で最多だ。^(E)背景には、中国の統制強化や経済政策に失望した人々が国外に脱出する動きがある。富裕層や高学歴の人が教育環境などを考慮し、日本を選択するケースも増えているようだ。

そうした変化を象徴するのが、昨年八月に東京・銀座にオープンした「単向街書店」だ。中国人作家の許知遠さんが北京で創設し、エリート層に人気のある独立系書店の海外一号店である。日本人作家の作品の中国語訳が並び、週末にはトークイベントが開催される。許さんとともに共同代表を務める松本綾さんは「中国のことを知ろうとする日本人の来店も増えている。文化交流の場として発展させたい」と意欲的だ。

日本に移住する中国人の急増やコミュニティーの形成で摩擦が生まれる懸念はあるが、重層的な対話と交流で相互理解を深める意義は大きい。日中両国には急速に進む少子高齢化や気候変動といった共通の課題も多く、解決の道筋をつけることは互いの利益になる。^(E)両国の政治指導者は対立が深まらないようにリスクを管理し、関係改善を東アジアの安定につなげるべきだ。

〔文章、ここまで〕

〔文章〕は、二〇二四年八月一二日付毎日新聞「社説： 24平和考 日中関係の将来像 互恵を安定につなげたい」より一部改変のうえ引用)

二〇二五年度南山大学総合型入試「資格・検定試験活用型」問題

「小論文」 時間 九〇分 配点 二〇〇点 (二〇二四年一〇月一九日実施)

〈外国語学部 アジア学科〉

【設問】

問一 に入る西暦年の数字を、次の (a) ～ (d) の中から一つ選び、その記号を答えなさい。

(a) 一九四九

(b) 一九七一

(c) 一九七八

(d) 一九八九

問二 傍線部 (A) に関連して、南シナ海に面していない東南アジアの国家を、次の (a) ～ (d) の中から一つ選び、その記号を答えなさい。

(a) ベトナム

(b) インドネシア

(c) ミャンマー

(d) ブルネイ

問三 傍線部 (B) に関連して、フィリピンの首都の名称を答えなさい。

問四 傍線部 (C) に関連して、現在の台湾の総統を、次の (a) ～ (d) の中から一つ選び、その記号を答えなさい。

(a) 蔡英文

(b) 賴清徳

(c) 馬英九

(d) 李登輝

問五 傍線部 (D) に関連して、クアッドの構成国ではない国家を、次の (a) ～ (d) の中から一つ選び、その記号を答えなさい。

(a) 日本

(b) オーストラリア

(c) シンガポール

(d) インド

問六 に入る二〇〇六年の安倍晋三首相の訪中の際に日中両国で合意され、今日までに至る日中関係の基本方針となった概念を、漢字五文字で答えなさい。

問七 傍線部 (E) に関連して、近年の中国社会の問題について、具体的な例をあげて、あなたの考えを四〇〇字以内で述べなさい。

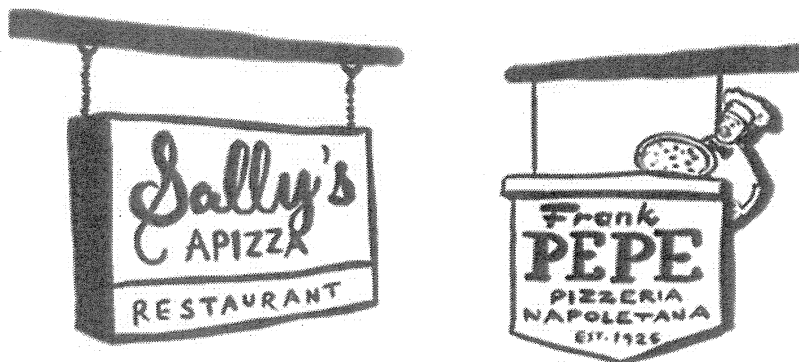
問八 傍線部 (F) に関連して、日中関係の関係改善を東アジアの安定につなげるにはどのようにしたらよいか、具体的な例をあげて、あなたの考えを四〇〇字以内で述べなさい。

【設問 ここまで】

＜経営学部 経営学科＞

一定の原則にのっとった交渉の手法について書かれた、次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

私はコネチカット州ニューヘイブン在住・在勤だ。ニューヘイブンといえば、イエール大学はもとより、ピザで有名な街でもある。サリーズ（Sally's）一筋の者もいれば、フランク・ペペ（Frank PEPE）をひいきにする者もいるが、両店の行列を見るかぎり、入るのはイエール大学よりよっぽど難しそうだ。人気の理由は、店のぜっぴん① クラムピザ〔アサリのピザ〕にある。一部の読者を敵に回す覚悟で、フランク・ペペのパイをめぐる交渉を例に取ってみよう。



アリスとボブは、ピザの分け方で合意すれば、フランク・ペペから12枚切りのピザをまるまるもらえる。合意に至らなかった場合でも、ピザはもらえるが、量は半分に減り、しかも取り分には偏りがあって、アリスが4枚、ボブが2枚になる。

よって、合意形成のインセンティブ②(a)は十分にある。問題は、両者にとって有効な取引は何通りもあり、その一部はアリスあるいはボブにとって有利なものになる、という点だ。それでも、なんらかの分け方を選ぶしかない。ほとんどの人は、ふたりの交渉方法について、次の2通りの視点のどちらかを採用する。

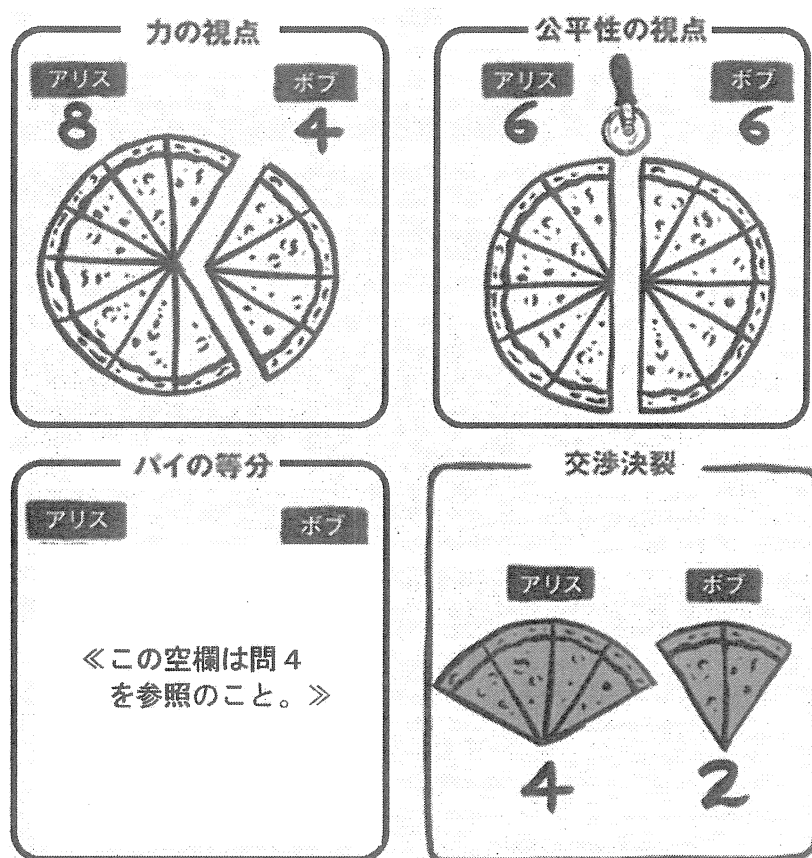
ひとつ目は、力の視点だ。最初の時点で、アリスのほうが力は上だ。決裂時の取り分は、アリスが4枚で、ボブの2倍にもなる。よって、アリスはボブの2倍の枚数を受け取る権利があり、アリスが8枚、ボブが4枚になる、という考え方だ。

ふたつ目は、公平性の視点だ。それぞれの最終的な取り分に着目したもので、この場合、ピザを半分ずつ山分けすることになる。つまり、アリスが6枚、ボブも6枚だ。

しかし、これとは別の、もっと論理的なピザの分け方がある。なぜ論理的かという点、この交渉の真の争点に着目しているからだ。それは、ふたりが合意することで生み出される、6枚の余分なピザである。もし合意に至らなければ、ふたりは合計(a)___+(b)___=6枚のピザしか受け取れない。一方、合意に至れば、合計12枚が受け取れる。この6枚から12枚への増加分が、合意を結ぶことの価値と見ていい。つまり、この6枚の増加分こそが交渉の争点、つまり私が「交渉のパイ③(i)」と呼んでいるものなのだ。この追加の6枚を受け取るためには、アリスとボブの力が等しく必要だ。彼らの力は等しいわけだから、6枚は均等に分割されるべきである。

(A) これに加えて、それぞれがもともとの取り分を受け取ると、全体でアリスが(c)___+(d)___=(e)___枚、ボブが(f)___+(g)___=(h)___枚となる（次図）。

<経営学部 経営学科>



おかしいことを言うようだが、ほとんどの人は、交渉の真の争点を誤解し、①____枚ではなく②____枚をめぐる交渉を始めてしまう。交渉の対象となるパイではなく、ピザ全体に着目してしまうのだ。この交渉のパイという考え方は、一見するとじめいのり③に思える。パイの視点から交渉をとらえれば、全体のうち、交渉の対象となる部分を均等に分け合うべきである、という結論になるのが自然なのだ。私がみなさんにぜひ納得してほしいと思っているのは、この結論だ。そして、ほかの人々をこの結論に納得させるためのツール④も、のちほど紹介しようと思う。

まずは、これまでの考え方のどこがおかしいのかを説明したい。力の視点では、交渉の外部の力関係と、内部の力関係を混同してしまっている、というのが私の考えだ。なぜ総額や総量を、決裂時の取り分に比例する形で分配する必要があるのだろうか？ 交渉をしているのはアリスとボブなのだ。⑤____枚対 ⑥____枚という分け方は、決裂時のそれぞれの取り分に比例しているので、一見すると合理的なようだが、取り分をその比率と同じにしなければならない、という本質的な理由はないはずだ。

比例分配の議論の欠点は、別のシナリオを考えてみるとわかりやすい。たとえば、交渉決裂時、ボブがピザ皮のくずしかもらえないとしたら、どうなるだろうか。この場合、決裂時の取り分の比率に応じて忠実に比例分配しようとする、その比率はとてつもなく巨大になってしまう（無限大に近づく）。つまり、アリスが ⑦を受け取ることになるのだ。

＜経営学部 経営学科＞

交渉決裂時、アリスの4枚に対してボブは2枚しか受け取れないので、ボブのほうが交渉において弱い立場にある、という主張もあるだろう。しかしこの主張は、交渉の本質を見誤っている。交渉が決裂すれば、ボブが2枚より多く受け取れなくなるのと同じで、アリスもまた4枚より多く受け取れなくなる。しかし、決裂時の取り分を上回ってこそ、交渉は成功と呼べるはずだ。そのためには、アリスとボブの力が等しく必要なので、ふたりの立場は対等なのだ。

ふたつ目の手法、つまり全体を等分するというのは、公平性をあまりにも単純化してとらえている。12枚を分けるに当たって、アリスとボブの立場は対等ではない。アリスのほうが決裂時の取り分が多いからだ。6枚ずつという分け方が本当に公平だとしたら、決裂時の両者の取り分が何枚であれ成り立つはずだ。しかし、そうはならない。たとえば、

はずだ。(c) 決裂時の取り分が4枚と2枚だったときは、この均等な分け方のけっかん⑧は必ずしも見えないが、公平性を担保するためのルール⑨としては、全体を2等分するという戦略には、根本的なけっかん⑧があるのがわかる。

全体を分け合うというのは、ありがちな失敗だ。たとえば、決裂時のアリスとボブの取り分をランダム⑩に割り当てて、ふたりに交渉させたら、どうなると思うだろう？ 実際にそんな実験を行なったのが、ネジャット・アンバルジとニック・フェルトヴィッチのふたりだ。決裂時の取り分が全体の半分に満たない場合、両者が全体を等分するケースは42パーセントもあった。合意を拒否すればどちらも損をするので、一見すると公平な分け方に思える。ところが、決裂時の取り分が全体の半分以上を超えたとき、全体の等分が選ばれるケースは8パーセントを切った。

いったい何が起きているのか？ 双方とも、公平そうに見える解決策をもさく⑪していたのだ。問題は、交渉のパイが (m)___ - ((n)___ + (o)___) = 6枚だと気づかず、最終的に的外れなパイを分け合ってしまった、という点だ。6枚ではなく、12枚を分け合ったのだ。公平性を意識するのはよいことだが、公平に分け合うべきなのは全体ではなく、交渉の対象となるパイのほうだ。6枚の交渉のパイに関していえば、アリスとボブは完璧に対称的であり、立場は等しく、同じくらい必要不可欠なはず。よって、交渉のパイを均等に分け合うのが公平なのだ。

パイの視点のもとでは、6枚の交渉のパイは3枚ずつ分け合うことになる。お互いが決裂時の取り分とパイの半分を受け取るので、アリスが (o)___ + (d)___ = (e)___枚、ボブが (d)___ + (e)___ = (n)___枚になるりくつ⑫だ。

交渉のパイを分け合うのは、単なる公平性の問題ではない。アリスとボブの力は等しい。アリスが等分に同意しなければ、交渉のパイは消えてしまう。まったく同じことがボブにもいえる。つまり、6枚という交渉のパイを生み出すのに、ふたりのうちの一方がより大きくこうけん⑬している、などとはいえないわけだ。お互いのもともとの取り分を上回る価値を生み出すことを目的とした交渉の内部では、ふたりの立場は完全に対称的だ。決裂時の取り分が等しくないことから明らかなように、この交渉の外部では、確かに両者の力関係には差がある。しかし、そのことは、交渉のパイの分配方法とはなんの関係もないのだ。

2025年度南山大学総合型入試〔資格・検定試験活用型〕（第2次審査）問題

「小論文」 時間 60分 配点 100点 （2024年10月19日実施）

＜経営学部 経営学科＞

これで、秘密の交渉のレシピが理解できたと思う。少なくともあとから見れば、ピザの例で紹介した手法は、ウソみたいに単純に見えるかもしれない。この手法を、より複雑な実世界の問題に応用する際には、このピザの例がすべての土台になる。

以後、本書で「パイ」という用語を使うときには、常に「交渉の対象となるパイ」を指すことにする。重要なのはそのパイだからだ。先ほど述べたとおり、交渉で難しいのは、そのパイを正確に計算する、という部分だ。毎回、ピザの例ほど一筋縄でいくわけではない。ときには、相手と協力してパイを見つけ出す必要もあるだろう。パイの見極めは、パイの半分をかくとくするうえでの鍵になる。そして、いったんパイの分配の問題が解決すれば、一緒にパイを広げることに専念できるのだ。

さっそく、始めよう。

次の例や本書全体で見ていくように、ある文脈では公平に思える比例分配が、別の文脈になるとたちまち破綻をきたしてしまうことがある。これは比例分配だけの問題ではない。全体を等分するという方法もまた、すぐに破綻してしまう。パイの等分だけが、しゅびいっかんした唯一の公平な手法なのだ。

いま、兄のバラトと妹のアンジュが、自分の資金を単独で投資するか、それとも、両者が協力して共同で投資するのが得策なのかを考えているとしよう。バラトは投資の元本として2万ドルを持っており、1年ものの定期預金を組めば、2パーセントの利息が得られる。アンジュは元本が5000ドルで1年ものの定期預金を組むつもりだったが、元本がバラトより少ないため、銀行が提示する金利はたったの1パーセントである。そこで、お互いの資金を一本化して投資をするのが賢明だ、ということですぐに意見が一致した。インターネットで少し検索をした結果、2万5000ドルの定期預金を組めば、金利が3パーセントに上昇することを知った（次表）。

	投資額	金 利	利 息
アンジュ	5000ドル	1%	50ドル
バラト	2万ドル	2%	400ドル
アンジュとバラト	2万5000ドル	3%	750ドル

ここまでは順調。問題は、資金を一本化した場合の利息750ドルについて、アンジュとバラトのあいだでの分配方法だ。

出典：〔原典〕SPLIT THE PIE by Barry Nalebuff

Copyright (c) Barry Nalebuff 2022

Permission from Barry Nalebuff c/o Levine Greenberg Rostan Literary Agency arranged through The English Agency (Japan) Ltd.

出典：バリー・ネイルバフ『パイを賢く分ける：イェール大学式交渉術』早川書房（千葉敏生訳、

2023年）およびその原書（Barry Nalebuff 著、Harper Business 社、2022年）の

「第1章 ピザ」、「第3章 パイ」より抜粋。ただし、表記を一部改めている。

出典：Illustrations: "Sally's Pizza and Frank PEPE", cut pizzas from Split the Pie by Barry Nalebuff.

Copyright (c) 2022 by Barry Nalebuff. Used by permission of HarperCollins Publishers.

＜経営学部 経営学科＞

設問 （解答はすべて解答紙の所定の欄に記入すること。）

問1 下線部①②③④⑤⑥⑦⑧のひらがなを漢字に直しなさい。

問2 下線部(あ)(い)(う)(え)(お)(か)のカタカナ語を英語に直しなさい（アルファベット小文字で）。

問3 下線部(a)(b)(c)(d)(e)(f)(g)(h)(i)(j)(k)(l)(m)(n)(o)の空欄__には整数値が入る。各々の空欄を適切な整数値で埋めなさい。

問4 本文中の図のなかの「パイの等分」の空欄に入る適切なイラストを描きなさい。

問5 括弧彼らの力は等しいわけだから、6枚は均等に分割されるべきである。(A)について、この日本語文を表す英文になるように、Becauseに続けて、以下の【 】内の英単語を並べ替えなさい。ただし、全部の単語を1回ずつ使うこと。また、必要に応じてカンマ（,）も使用すること。

Because 【 be equal equally split power have should slices they the 6 】 .

問6 括弧() (B)に入る適切なものを考えて、2～10文字で埋めなさい。

問7 括弧たとえば、() (C)には、以下の英文を日本語訳した文が入る。この英文を日本語に訳しなさい。

Look what happens if Alice's fallback option rises to 7 slices, while Bob's remains at 2 slices. If fairness means a 6:6 split, Alice would reject it. She'd rather keep her fallback of 7 slices than accept 6.

（注） fallback option — 交渉決裂時の取り分。

問8 アンジュとバートで利息750ドルを分配するとする。投資額に比例して分配する「力の視点」に基づく場合と「公平性の視点」に基づく場合にわけ、本文の内容に即し、分配額を説明しなさい。（100～150文字）

問9 利息750ドルを「パイの等分」の原則に基づいて分配するとどうなるか、本文の内容に即し、分配額を説明しなさい。また、問8の「力の視点」の場合の分配額と比較しなさい。（100～150文字）

問10 兄のバートは問8の「力の視点」に基づいた分配を提案しようとしたが、妹のアンジュは問9の「パイの等分」による分配を要求したかった（兄の提案の分配と比べると、わずかな得にすぎないが）。そこでアンジュは、自分の要求の正当性を証明して兄を説得するために、次のように言った。

2025年度南山大学総合型入試〔資格・検定試験活用型〕（第2次審査）問題

「小論文」 時間 60分 配点 100点 （2024年10月19日実施）

<経営学部 経営学科>

（問10の問題文の続き）

「ねえ、バラト、仮に2万5000ドルの場合の金利が、2万ドルのときと同じ2パーセントだと仮定してみて。それでも共同で投資する意味はある。利息が50ドル増えるから（次表）。あなたの提案しようとしている方法だと、でしよう。だからこの場合、私が主張するとおりに利息50ドルは均等に分け合うべきじゃない？」

	投資額	金 利	利 息
アンジュ	5000ドル	1%	50ドル
バラト	2万ドル	2%	400ドル
アンジュとバラト	2万5000ドル	2%	500ドル

この説得を聞いてバラトはアンジュに論破され、問9の「パイの等分」の原則に基づいて分配することを受け入れたのだった。では、上の会話のなかの括弧 においてアンジュはどのような主旨のことを言ったか。あなたの考えを書きなさい。また、これを聞いてバラトは問8の「力の視点」に基づく分配がどのような意味で正しくないことに気づいたのか。説明しなさい。（200文字以内）

（設問はここまで）



南山大学

入学センター

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18
Phone 052-832-3119 (平日 9:00-17:00)

Fax 052-832-3592

nyushi-ka@nanzan-u.ac.jp
<http://www.nanzan-u.ac.jp/>